

# 桃田「金」



バドミントン世界選手権の男子シングルスで、日本男子初の金メダルを獲得し、表彰式でメダルを掲げる桃田賢斗。5日、中国・南京(共同)

## 世界バド

# 日本男子初

【南京共同】バドミントンの世界選手権最終日は5日、中国の南京で各種目の決勝が行われ、男子シングルス

の桃田賢斗(NTT東日本、富岡高卒)は世界ランキング3位の石宇奇(中国)に2-0(21-11、21-13)で快勝し、日本男子として五輪、世界選手権を通じて初の金メダルを獲得した。

## ナガマツ 女子複V

### 日本勢41年ぶり

違法賭博問題による出場停止処分でリオデジャネイロ五輪に出られなかったエースが、3年ぶりに出場した大舞台でまぶしい輝きを放った。

女子ダブルスは初出場の永原和可那、松本麻佑組(北都銀行)が前回2位の福島由紀、広田彩花組(岐阜卓トリッキーバンダース)に2-1(19-21、21-19、22-20)で逆転勝ちし、この種目の日本勢で1977年第1回大会の梶野尾悦子、植野恵美子組以来41年ぶりに優勝した。

今大会の日本勢は世界選手権で史上最多6個のメダルを獲得。2020年東京五輪に向け、着々と強化が進んでいることを好結果で証明した。

桃田 賢斗(ももた・けんと)12年世界ジュニア選手権王者。15年世界選手権3位で、男子シングルスで史上初の表彰台。16年4月に発覚した違法賭博問題による出場停止処分がリオデジャネイロ五輪に出られなかった。今年1月に日本代表復帰。富岡高出(NTT東日本)17歳、68kg。23歳。香川県出身。